

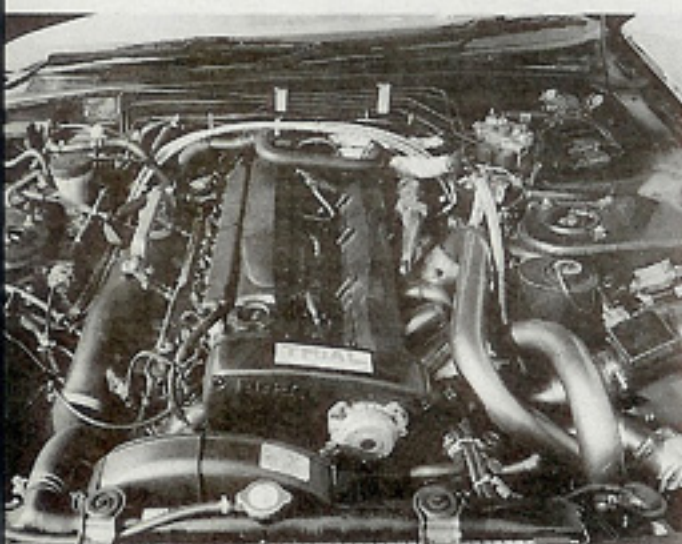
MAX SPEED
=299.637km/h
コイツはやっぱり速いぜ!!



GT-RステップI~IIIチューニング

サーキットを走るために生まれたスカイラインGT-Rはさすがに速い!! ちょっとさわってやればパワーはモリモリわいてくるだけにチューニングメニューは盛りだくさん。そこでトライアルがファインチューニングから最高速仕様まで、各ステップごとの谷田部におけるチューニングデータを教えてくれたぜ。

トライアル
☎0729-65-6823



TD05Gタービンを使いステップIIIのチューニングが施されたRB26DETT。エンジン本体はノーマルながらもオーバー 290 km/hを可能としている

STEP I

ターボエンジンならではの ファインチューニング

HKS・EVC HKSブースト計
トライアルオリジナルコンピ
ュータ トラスト80φマフラー
OS技研トリプルクラッチ 過給
圧=1.35kg/cm²

MAX SPEED=274.809km/h
(5速7,400rpm)

0→400m=12.123秒

過給圧アップにスポーツマフラー、
CPチューニングというターボエン
ジンの定番ファインチューニングと
もいえるステップI。これだけで最

高速270km/hオーバー、ゼロヨン12秒台というからGT-Rのポテンシャルの高さがわかるというもの。このステップIはパワフルだけでなく、タービンがノーマル、つまり扱いやすいセラミックであることから低速域は損われることなく、下からレスポンス良く、力強いターボフィーリングが体感できる。ストリートにおいてはコストパフォーマンスに優れたオススメの仕様だ。ノーマルタービンの耐久性、そしてキャパシティから、このスペックが限界と見ていいだろう。

ただノーマルエンジンの弱点はクラッチ系の弱さにある。このステップIでトリプルプレートのクラッチが組み込まれ多少、扱いにくさが見られるが、これは仕方のない所だろう。